

ハンスオンセミナー 8

11月16日(日) 13:20~14:20 HS会場② 42F 富士

真菌症原因菌の検鏡の仕方～基礎から応用まで～(白癬、カンジダ、癜風、脂漏性皮膚炎の検鏡方法)

オーガナイザー・演者・術者

清 佳浩(帝京大溝口病院)

【略歴】

昭和51年3月(1976) 日本大学医学部卒
昭和52年4月(1977) 昭和大学藤が丘病院皮膚科入局
昭和60年4月(1985) 金沢医科大学皮膚科学教室専任講師
平成2年1月(1990) 昭和大学藤が丘病院皮膚科専任講師
平成7年6月(1995) 昭和大学藤が丘病院皮膚科助教授
平成18年2月(2006) 帝京大学医学部附属溝口病院皮膚科科長、助教授
平成20年4月(2008) 同教授
平成29年3月(2017) 同常勤客員教授
平成30年4月(2018) 同客員教授

チューター

竹花 麻己(帝京大溝口病院)

飯島 一祥(帝京大溝口病院)

塚田 遼(帝京大溝口病院)

開催日時

11月16日(日) 13:20~14:20

テーマ

真菌症原因菌の検鏡の仕方～基礎から応用まで～
(白癬、カンジダ、癜風、脂漏性皮膚炎の検鏡方法)

対象

検鏡手技を向上したい方

目的

検鏡の仕方と理解、日常診療における活用法

内容

●レクチャー+個人実技

日常診療において、検鏡を取り入れることで、診断・患者への説明が大きく変わってきます。

本セミナーでは、参加者を数名のグループに分け、各グループに顕微鏡を用意し、実際に検鏡を行っていただきながら、テクニック・スキルを学んでいただくことができます。

※検体、DMSO添加 KOH、両面テープ、酸性メチレンブルー、ホットプレートを用意いたします。

協力：持田ヘルスケア株式会社